***「研究開発型スタートアップ支援事業／***

***ベンチャーキャピタル等の認定」に係る公募***

***申請書作成にあたって***

***申請書は、次の項目より構成されます。次ページの「総括的注意」に従って申請書を作成してください。***

***申請書 (表紙、本文)***

***項目１：法人の概要***

***項目２：実績***

***項目３：STS事業に係る支援計画***

***（別添１）過去2年間の投資実績***

***（別添２）シード・アーリー期の研究開発型スタートアップへのリード投資***

***（別添３）過去に支援したスタートアップに対する継続支援の実績***

***（別添４）投資指標***

***（別添５）STS事業に活用する、あるいは活用予定のファンド***

***（別添６）ハンズオンメンバー***

***（別添７）既存資料一覧***

***(既存資料１)　定款***

***(既存資料２)　ファンドの目論見書、又は投資の概要説明書等に関する資料***

***(その他既存資料一式)*** ***既存資料３以降の既存資料一式***

***(別添８)　倫理綱領***

***(別添９)　利害関係の確認について***

***（提出にあたって、本ページは削除してください）***

***総括的注意***

注１．申請書の作成にあたっては、公募要領を必ず確認してください。申請書の記述内容について注意事項があります。

注２．チェックリストを基に提出内容をご確認ください。チェック済みのチェックリストも提出を要します。

注３．申請書は、添付書類を含め、全てＡ４サイズとしてください。既存資料を使用する場合で  
Ａ４サイズ以外の大きさであれば、Ａ４版としてください。

***注４．申請書の項目を変更・削除しないでください。（ただし、本ページを含む削除指示のあるページ及び次ページ以降青字イタリック体で記載されている申請書の注意事項及び記述例は、削除してください）***

***注５．特に指定のない場合は、項目間の行間は、適宜変更してもかまいません。***

***注６．記述に際しては、簡潔明瞭を旨とし、申請書のボリュームが大きくならないよう配慮してください。***

***注７．申請書の作成にあたり記述上の注意（青字イタリック体部分）をよく読んでください。また、各項目の記述上のポイントにはアンダーラインを付けていますので、これに沿って申請書を作成してください。***

***注８．年月は西暦にて記述してください。***

***（提出にあたって、本ページは削除してください）***

**Ⅰ．申請書提出のためのチェックリスト（要提出）**

□1) 申請書提出のためのチェックリスト

□2)　申請書（表紙、本文（項目１～項目３））

　　　※ 申請書(表紙)に、申請者の印又はサインがあること（下記Ⅱの項参照）

□3)　過去2年間の投資実績 （別添１）

□4)　 シード・アーリー期の研究開発型スタートアップへのリード投資 （別添２）

□5)　過去に支援したシード・アーリー期の研究開発型スタートアップに対する継続支援の実績 （別添３）

□6)　投資指標 （別添４）

□7)　STS事業に活用した、あるいは活用予定のファンド （別添５）

□8)　ハンズオンメンバー （別添６）

□9) 既存資料一覧 （別添７）

□10) 定款 (既存資料１)

□11) ファンドの目論見書、又は投資の概要説明書等に関する資料 (既存資料２)

□12) その他既存資料一式 (既存資料３以降)

□13) 倫理綱領 (別添８)

□14) 利害関係の確認について (別添９)

**Ⅱ．作成するファイルに係るチェックリスト（要提出）**

□申請書チェックリスト：1～9)及び13)～14)(チェックリスト、申請書表紙／本文、別添１～９)(PDF)

　　ファイル名：VC21\_申請者名(略称可)\_申請書.pdf

　　※申請書表紙に印又はサインの上pdfにしてください。

※印又はサインいただいた申請書表紙は後日原紙を提出いただきます。詳細は別途ご連絡します。

□申請書チェックリスト：1)～2)（チェックリスト、申請書表紙／本文） (word)

　　ファイル名：VC21\_申請者名(略称可)\_申請書.docx

※押印前のもので結構です。

□申請書チェックリスト：3)～9)　（別添１～７） (excel)

　　ファイル名：VC21\_申請者名(略称可)\_申請書.xlsx

□申請書チェックリスト：10)　(既存資料１)（PDF）

ファイル名：VC21\_申請者名(略称可)\_既存資料1.pdf

□申請書チェックリスト：11)　(既存資料２)（PDF）

ファイル名：VC21\_申請者名(略称可)\_既存資料2.pdf

□申請書チェックリスト：12)　(既存資料３以降一式）（PDF）

ファイル名：VC21 \_申請者名(略称可)\_既存資料3以降一式.pdf

※一つのpdfファイルにまとめてください。

Ⅲ.Web入力にアップロードするファイルに係るチェックリスト（要提出）

□「作成するファイルに係るチェックリスト」記載の6ファイルをまとめたzipファイル（zip）

ファイル名：VC21 \_申請者名(略称可).zip

例：VC21\_NEDO.zip

※20MB以内に収めてください。

* 提出先：Web入力フォーム　<https://app13.infoc.nedo.go.jp/enquete/form.rbz?cd=2235>
* 提出先のWeb入力フォームに①申請者名、②連絡先担当者氏名、③連絡先電話番号、④連絡先Eメールアドレスを入力頂き、提出書類をアップロードしてください。
* 提出書類は、「Ⅲ.Web入力にアップロードするファイルに係るチェックリスト」の要領でzipファイルとしてまとめたファイルです。
* ファイルにパスワードを設定しないでください。
* アップロード後、vc-vb@nedo.go.jp　宛てにアップロードした旨通知してください。
* やむを得ない理由等で再提出の場合は、zipファイル名の後ろに提出回数を意味する数字（2回目：2）を付け、再度全資料を提出してください。

　表　紙

2021年***○○***月***○○***日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

理事長　　殿

代表申請者　〒 ***住所***

***名称***

***代表者　役職・氏名***

***印（又はサイン）***

**「研究開発型スタートアップ支援事業／ベンチャーキャピタル等の認定」**

**に係る申請書**

標記の件について、「研究開発型スタートアップ支援事業／ベンチャーキャピタル等の認定」に係る公募要領の様式に従い申請します。

なお、公募要領の全ての記載事項について十分理解するとともに、「6. (1)　認定VCの努力義務」記載事項の各項を満たし、遵守します。

本文

**項目１：法人等の概要**

1. 法人等概要

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 |  |
| 法人番号 |  |
| 代表者名 | 氏名： |
| 役職： |
| 住所 |  |
| 設立年月日 |  |
| 従業員数 |  |
| URL |  |

1. 事務連絡先

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 住所 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |

1. 組織図

***(役職、担当する分野・役割等)***

***(ハンズオンメンバーがわかるよう記述のこと)***

***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添７）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)***

1. 株主名簿

***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添７）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)***

1. VCとしての特色

***申請者のVCとしての特色をスタートアップに対する支援戦略を中心に記載してください。***

***記載は自由記述でかまいません。***

***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添７）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)***

***※青字イタリック体の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、A4で1～２枚程度を目安としてください。***

**項目２：実績**

1. 過去2年間の投資実績

STS事業に応募するスタートアップの支援に活用する可能性のあるファンドを用いた投資実績のうち過去2年間の投資実績を（別添１）に、様式に従い記載してください。

1. シード・アーリー期の研究開発型スタートアップへのリード投資

（１）に記載の投資案件のうち、シード・アーリー期の研究開発型スタートアップへのリード投資実績がある場合は、その主たる案件（2019年1月1日以降の案件についてはすべて）を、（別添２）に様式に従い記載してください。

1. 過去に支援したシード・アーリー期の研究開発型スタートアップに対する継続支援の実績

過去に支援したシード・アーリー期の研究開発型スタートアップに対する継続支援の実績のある場合は、その主たる案件（2019年1月1日以降の案件についてはすべて）を案件毎（別添３）に様式に従い記載してください。

※継続支援の実績とは、フォロー投資、セカンダリーファンドへの橋渡し、Exitサポートなど、シード・アーリー期のスタートアップの事業継続に寄与する支援の実績を意味します。

1. 投資指標

IRR、DPI、及びRVPIの各指標をファンド毎に、(別添４)に記載してください。

※STS事業に活用した、あるいは活用する予定のあるファンドについては原則すべて記載してください。

※上記に該当しないファンドであってもシード期の研究開発型スタートアップに対し直近に支援を行ったファンドがあれば2件程度記載してください。

※算出方法は申請者が用いている方法を用いていただいて結構ですが、備考欄に算出方法を簡単に示してください。

**項目３：STS事業に係る支援計画**

【注意】

※認定VCとして活動する期間中申請者が支援するSTS事業に係る案件に対しては、本項に記載のファンドより投資することを求めます。

※STS事業に係る案件をここに記載のないファンドより投資する必要が生じた際は、その旨の申請を要し、申請に対し審査を要する場合があります。

1. 活用ファンド

STS事業に活用する可能性のあるファンドのうち投資期間が終了していないものについて、 (別添５)に、様式に従いファンド毎記載してください。

1. 設立予定ファンド

今後STS事業に係る事業者の支援に活用する可能性があるファンドを設立する予定がある場合、その予定と進捗について記載してください。

***記載は自由記述でかまいません。***

***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添７）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)***

***※青字イタリック体の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、A4で１～２枚程度を目安としてください。***

1. シード期の研究開発型スタートアップへのソーシング

認定VCとしての具体的なシード期の研究開発型スタートアップ支援計画を記載してください。

1. 投資活動計画

***認定VCとしての期間中行う（セミナー、設備提供、トレーニングなどのプレハンズオンによるソーシング活動などの）シード期の研究開発型スタートアップの育成プランをできるだけ具体的に記載してください。***

1. 検討中案件数

***STS事業への提案の可能性のある案件数を記載してください。***

1. 検討中案件内容

***どのような案件についてSTS事業への提案を検討しているか、可能な範囲でできるだけ具体的に記載してください。***

1. 案件発掘活動

***新たにSTS事業への提案の可能性のあるスタートアップを発掘するための活動方針を記載してください。***

1. 昨年度からの変化点

*（注：本申請書は既認定VCの延長審査にも用いられ、本欄はその用途で用います。新規応募者は本欄には記載不要です。）*

***昨年度の認定審査の際のSTS事業への提案計画に対して変化があれば記載してください。（特に計画していたSTS事業への提案を行えなかった案件については理由と今後の施策を記載してください）***

***※青字イタリック体の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、A4で１～２枚程度を目安としてください。***

1. シード期の研究開発型スタートアップに対するハンズオン体制

【注意】

※認定VCとして活動する期間中申請者が支援するSTS事業に係る案件に対しては、別添６に記載のメンバーを主たるハンズオンメンバーとして指名することを求めます。

※STS事業に係る案件をリストにないメンバーが担当する必要が生じた際は、その旨の申請を要し、申請に対し審査を要する場合があります。

* + 1. ハンズオン方針

***シード期の研究開発型スタートアップに対してどのようにハンズオンを実施していく計画か、できるだけ具体的に記載してください。***

***また、STS事業期間を通じてハンズオンメンバーの安定的な人員配置をするため特に行っている施策があれば記載してください。***

***（記載項目例）　ハンズオン方法（取締役会参加／不定期サポートなど）、供与できるリソース、ネットワーク、人材獲得、顧客紹介、事業パートナー紹介、ほか。***

* + 1. ハンズオンメンバー
       - 1名あたりの平均案件数

***STS事業に係る案件に限らず各ハンズオンメンバーが担当する平均案件数を記載してください。***

* + - * メンバー略歴

***STS事業に係る案件を担当する可能性のあるすべてのハンズオンメンバーについて（別添６）の略歴フォームに記載してください。***

* + 1. その他

***次の資金調達候補となり得る国内外のVC、事業会社とのパイプの太さや知財支援体制など、特記すべき事項がありましたら記載してください。***

***※青字イタリック体の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、A4で１～２枚程度を目安としてください。***

（別添８）倫理綱領

【研究開発型スタートアップ支援事業／シード期の研究開発型のスタートアップに対する事業化支援に係る認定VCが遵守すべき倫理綱領について】

認定VCは、以下の倫理綱領（以下、「本綱領」といいます。）をご確認の上、同意いただける場合は「倫理綱領に同意する」にチェックを入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 倫理綱領に同意する |

1. 我が国の科学技術の産業化と育成の趣旨に賛同すると共に、NEDO事業の社会的責任の重みを十分認識し、自己の利益だけを追及する行動をとらず、社会規範・倫理に沿った公正・誠実なサポーター活動（投資前のソーシング活動、及び投資後のハンズオン活動等）を通じて、社会からの信頼の確立を図ること
2. 適用される全ての国内外の法令、規則、各種指針、社会的規範等の研究不正防止その他の一切のルールを厳格に自ら遵守し、かつ相談者に対しても遵守させるように努めること
3. 日々刻々と変化する国内外の支援対象産業・科学技術への理解を深め、研鑽を怠らないこと
4. NEDO事業制度の事業化・産業育成の観点を十分に理解し、社会的名誉・信用を維持し、NEDO事業制度について第三者が誤解、困惑・不信感を抱くような内外の行動を控え、認定VCであることが当該VCのサービスに何らかの信頼を付与しているような言動は控えること
5. 相談者との間で何らかの契約を締結する場合には、情報の非対称性を利用した不当な交渉を行わず且つ不当な条項を挿入しないこと、またこれらの者の第三者への相談の機会を妨害しないこと
6. 本綱領の公表及び相談者に対する告知に協力すること
7. 相談者との間に何らかのトラブル・紛争が生じた場合、直ちにNEDOに報告し、誠実に対処すること
8. 暴力団又はこれらに準ずる者などの反社会的勢力に該当せず、かつ将来も該当しないこと、自ら又は第三者を利用して、暴力を用いる不当な要求行為、脅迫的な言動、偽計又は威力を用いて相手方の信用を毀損し又は業務を妨害する行為その他これらに準ずる行為を行わないこと
9. 上記倫理綱領の違反、NEDO事業の社会的評判や信頼を貶める可能性がある行為が発覚した場合や、そのおそれがある場合には、NEDOが行う調査等に真摯に対応すること

以上

（別添９）

利害関係の確認について

* ＮＥＤＯは、認定審査にあたり大学・研究機関・企業等の外部専門家による認定審査委員会を開催します。この認定審査委員会では公正な審査を行うことはもちろん、知り得た申請情報についても審査以外の目的に利用することを禁じております。
* さらに、認定審査委員の選定段階で、ＮＥＤＯは利害関係者を排除すべく細心の注意を払っているところですが、さらに認定審査委員本人にも事前に確認を求め、より公平・公正な審査の徹底を図ることといたしております。
* そこで、本書類を以て「申請者及びメンバーの所属と名前」を認定審査委員に提示し、自らが利害関係者、とりわけ競合関係に当たるかどうかの判断を促します。
* また、ＮＥＤＯが認定審査委員を選定する上で、留意すべき事項（特に利害関係者とお考えになる者等）があれば、下の記述欄に任意で記述いただいても構いません。なお、認定審査委員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がございますので、ご協力をお願いいたします。

|  |
| --- |
| ***原則、同業他社となる投資家等を審査委員には含めませんが、利害関係の観点からＮＥＤＯで留意すべき事項があれば記述してください。ない場合には、『特になし』と記述し、提出してください。*** |

以上